



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 121

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 121. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1962, 121: 63-72

ISSUE DATE:

1962-10-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186918>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会

水族館月報

NO. 121

1962. 9月 (10月10日)

録 事

9月1日 南海岸の海水取水口修理(砂利掃除、グリ石つめかえ)を行なった。

13日 水族館玄関屋根並ひに入口の小修理を行なう。

18日 取組旅行本年度は、飛行機試乗と、京都神楽坂を目的として行なわれ  
第1班10名は本日東白浜港より出発、20日夕刻帰着

22日 深見事務主任は、23日より26日まで、東京上野文化会館において  
開催の全国博物館大会に参加のため本日出発、27日帰着

25日 取組旅行第2班9名本日出発、27日帰着

# 業 務 概 況

## ◎ 9月の入場者数

区 分	大 人	中 人	小 人	合 計
水族館発売	個人 5994	32	327	6,353
	団体 10268	—	—	10,268
交通公社発売	3897	—	—	3,897
近畿日本発売	795	—	—	795
日本旅行会発売	50	—	—	50
明光バス発売	12825	—	176	13,001
合 計	33829	32	503	34,364
景 計	346,377	1,111	14,126	362,084
無 料	旅館従業員他		64	563

団 体 : 一般 152組 学生 6組 合計 158組

## ◎ 9月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金	1,506,188	10,338,502
窓 口 発 売	456,755	4,588,338
交通公社クーポン	104,401	1,005,000
近畿日本ツーリストクーポン	20,722	67,446
日本旅行会クーポン	1,350	21,968
明光バス観光券	922,960	4,655,750 ※
予金、積立金利子	59,104	59,824
手 数 料	64,217	308,384
絵はがき払下	11,020	408,220
パンフレット払下	840	57,390
南極生物報告払下	—	1,830
魚 類 払 下	—	20,400
雑 収 入	1,675	25,195
諸施設改善積立金より繰入	—	4,542,400
災害資金より繰入	168,760	168,760

合 計 1,811,804 15,930,905

※ 明光バス観光券未収分

大人券 17,025 枚

小人券 680 枚

(64)

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	224,066	1,698,392	深見事務主任博物館大会出席旅費
会 議 費	—	81,855	
備 品 費	—	769,045	
消 耗 費	12,895	875,127	
事 業 費	70,659	553,953	
維 持 費	22,200	630,961	
その他諸経費	248,519	1,046,526	秋の脱身旅行他
積 立 金	171,362	1,914,392	
予 備 費	—	—	
合 計	749,701	7,570,251	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	48,350	
奨 学 金	10,000	60,000	
備 品 費	—	2,650	
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	307,900	
役 務 費	—	847,716	
合 計	10,000	1,266,616	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	—	32,160	
備 品 費	—	—	
消 耗 費	—	—	
役 務 費	—	—	
合 計	—	32,160	

臨時費

	金 額	累 計
第2室尹台風災害復旧	168,760	4,716,820
(博物館室根幹管)		
合計		4,716,820

支 出 合 計		(今年度累計)
水族館経費	749,701	7570,251
実験所経費	10,000	1,266,616
博物館経費	—	32,160
臨時費	168,760	4,716,820
合 計	928,461	13,585,847

◎ 9月末現在高

前月よりの繰越	1,461,715
今月の収入合計	1,811,804
今月の支出合計	928,461

現 在 高 2,345,058

◎ 前年度との比較

	1961	1962	増 減
入 場 者 数	27988	34,364	+ 6376

## 水族館記事

- ◎ 2日 8月1日付で、当館も日本動物園水族館協会に加入したので、同協会へ月報の資料を提出することになり、8月分を送付した。報告内容は、ニコース・トピックス、収容動物（月末現在の種類数、個体数）入館者数、水質調査等である。
- ◎ 4日 H水槽のフィルターを再セットし、ついでにJ・K水槽の流砂を補充した。これで長期にわたった新館各水槽の浸水止め工事はひとまず終り、作業室を清掃した。その後月末までに、なお、H・I・K水槽に若干の浸水がみられたが完全に止まっている日もあるので、当分様子を見ることにした。
- ◎ 7日 H水槽へ、ウミガメ類・サメ類を収容し展示を再開。これに伴ない、F・K水槽も模様替した。
- ◎ 同日辻本熱帯魚店より、クダタツ7個体が入槽。E（タツノオトシゴ）水槽は弱やかになった。また、網不知の漁師真鍋氏よりソウシハギ1個体を受贈。B水槽へ収容した。
- ◎ 11日 45節2本足のナイロン網で捲網を作ったところ、予想通り成績がよく、今後珍魚採集に威力を発揮するものと思われる。
- ◎ 14日 ポンプ室地下のマンホールの水底にたまった砂を潜水作業により取り除き海水汲み上げポンプの事故を予防した。
- ◎ 16日 塔島東側でツバメウオ（20 cm）1個体を採集、A水槽に収容した。同時に捕えたアオヤガラは残念ながら翌17日に死亡した。
- ◎ 22日 G水槽のタカアシガニ1個体が死亡。この個体は以前から餌付けが悪かったもので、歩脚は殆んど肉がなかった。
- ◎ 23日 H水槽に芳養の地曳網でとれたマアジ約1500個体を収容、壮観  
同日、希望のツノダシ1個体を塔島で採集、F水槽へ収容した。
- ◎ 25日 網不知湾奥の浅瀬でコンゴウフグ1個体を採集、E水槽へ収容した。
- ◎ 30日 R1予備水槽に仕切りを設け、南水槽室からの排水は左側部分にだけ入るように改めた。右側部分には給水弁2個を新設して、新鮮な海水が多量に給水できるようになり、今後、新着魚類の健康管理が向上するものと期待される。
- ◎ 夏中悩まされ続けた白点病は、塩酸キニーネ療法の反復により、どうにか抑

られるようになり、今月に入ってから、魚類の補充も順調に進んだので、新館も面目をとりもどした。まだ水温が高いので(24℃)油断すると再発のおそれがあるが病原虫が活動を停止する12月まで、この夏のような大被害はあるまいとの見通しである。なお、塩酸キニーネ浴以外の治療法も二・三、テストしている。

# ◎ 9月の採集作業

日 時	採集場所	方 法	人 員	主 な 目 的
3日午後	塔島かなとこ向	潜 水	3名	クマノミ
5日 "	燈海波止場	磯 釣	2名	フグ類
7日夕方	江津良浜	投 釣	1 "	コバンアザ
11日午前	東白浜-江津良	磯採集	3 "	幼魚類
12日午後	塔 島	磯 釣	3 "	ブダイ、ベラ類
13日 "	塔 島	磯釣り及びダイドール	2 "	ギンユゴイ
14日 "	塔 島	潜 水		クマノミ、オヒメエビ
16日 "	塔 島	潜水及び磯釣り	4 "	ケウチケウチ類、ベラ類
20日午後	島島西側	船 釣	2 "	砂地の魚類
24日午前	取入口附近	磯 釣	1 "	フエダイ幼魚
30日午前	円月島の磯	磯 釣	1 "	ネンブツダイ類

# ◎ 主な採集水族名

魚 類 : ヨウジウオの一種 アオヤガラ ギンガメアジ コバンアジ オオスジイシモナ  
ヒトスジイシモナ ヨスジフエダイ フエダイの一種 キダイ クロサギ オキゴンベ  
コウライトラギス クマノミ ミツボシクロスズメ クロスズメダイ オハグロベラ  
ホンノメワケベラ コガシラベラ ブダイ ツバメウオ ツノダシ タスキエンガラ  
ウマズラハギ シマウミスズメ

無脊椎動物 : アカヤギ イソバナ オヒメエビ キンセンガニ タツナミガイ  
アマクサウミウシ コイボウミウシ オオウミシダ ハナウミシダ (Comanthina  
Schlegelii) オキノテズルモズル テッポウナマコ

- 7月号に記載したスズメダイの一種は、Abudefduf biocellatus  
 (Quoy et GAIMARD) と判つた。No 23-5水槽で生存中  
 (68)

◎ 主な購入水族名

ウミガメ類 : アオウミガメ (甲長約50cm) 1. アカウミガメ 幼仔 50

魚 類 : シロサメ コモンサカタザメ オキエリ ゴテンアナゴ ホタテウミハジ

ウツボ ワカウツボ タケウツボ クダタツ ダツ イトトウダイ マアジ

オキナヒメジ キハツソク アカハタ キス キゲヌ ヨコスゲフエダイ

メイケダイ イサキ コトビキ メガネウオ トラギス イラ ソウシハギ

ホシフグ コバンサメ

無脊椎動物 : シマイシガニ アミメノコギリガサミ イタヤガ バイ ツメタガイ

テングニシ カズラガイ

◎ 今月30日現在飼育中の動物は、総計296種、5210個体以上で、その内訳は次の通り、このうち鯨類水槽に収容展示中の動物は、292種、5140個体以上。

カイメン類	1種	多毛類	3種	タコ類	1種
ヒドロ虫類	1〃	カブトガニ類	1〃	ウミシダ類	3〃
ウミトサカ類	2〃	フジツボカマデ類	1〃	ヒトデ類	5〃
ヤギ類	7〃	エビ類	12〃	クモヒトデ類	3〃
ウミエラ類	1〃	ヤドカリ類	5〃	ウニ類	11〃
イナギンテヤク類	10〃	カニ類	17〃	ナマコ類	7〃
イシサンゴ類	9〃	アメフラシ類	4〃	ホヤ類	5
ツノサンゴ類	1〃	二枚貝類	10〃	軟骨魚類	8〃
ハナギンテヤク類	1〃	巻貝類	19〃	硬骨魚類	144〃
ホウキムシ類	1〃			カメ類	3〃



# 資 料

◎ 9月の気象 (09 時観測)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数: 19	6	7	6
室 温 (C°)	$\frac{26.2 \sim 28.4}{27.1}$	$\frac{25.0 \sim 27.2}{26.4}$	$\frac{21.0 \sim 26.0}{24.1}$
水 温 (C°)	$\frac{26.48 \sim 27.42}{26.90}$	$\frac{24.20 \sim 26.20}{25.36}$	$\frac{21.46 \sim 25.80}{24.39}$
比 重 (25)	$\frac{23.99 \sim 24.26}{24.11}$	$\frac{23.65 \sim 24.57}{23.99}$	$\frac{23.98 \sim 24.64}{24.32}$

新 館 (水温)

片水 温 (C°)	$\frac{26.3 \sim 27.3}{26.8}$	$\frac{24.8 \sim 26.3}{25.9}$	$\frac{21.4 \sim 26.6}{24.8}$
T8水 温 (C°)	$\frac{26.5 \sim 27.4}{27.2}$	$\frac{25.0 \sim 26.5}{26.1}$	$\frac{21.4 \sim 25.8}{24.6}$

取 入 口

水 温 (	$\frac{26.22 \sim 27.60}{27.01}$	$\frac{25.24 \sim 26.62}{26.12}$	$\frac{21.46 \sim 25.62}{24.51}$
比 重	$\frac{23.85 \sim 24.20}{24.01}$	$\frac{22.23 \sim 24.40}{23.75}$	$\frac{24.05 \sim 24.81}{24.42}$

## 来 訪 録

- 9月11日 神戸海洋気象台長視察のため来館。  
9月20日 岡山県水産試験場総務課長難波忠義氏・岡山県主事谷口衛氏視察のため来館。  
9月30日 鳴門自然水族館々長中道勝吉氏東京伝物館大会の帰途視察のため来館。

昭和37年10月10日(No. 121)

編集  
発行所

宮地 伝三郎

発行所

瀬戸内海実験所振興会  
和可山県白灰町  
瀬戸内海実験所内  
(Tel. 白灰温泉 515)